

平成 29 年 5 月 27 日（土）、28 日（日）に山口大学医学部附属病院主催緩和ケア研修会が ANA クラウンプラザホテル宇部で開催されました。「がん対策基本法」に基づく「がん対策推進基本計画」において、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについて基本的な知識を習得する」ことが目標と掲げられています。この目標達成のため、国が定めた「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に基づき、統一的なプログラムによる研修会を実施しています。

今回は、当院から 7 名、院外から 3 名のファシリテーターを迎え、当院及び近隣の病院をはじめ様々な診療科から、34 名の医師の参加がありました。その他、当院から、管理栄養士 1 名、薬剤師 1 名、臨床心理士 1 名、看護師 2 名、MSW1 名の多職種が参加し、合計 40 名の参加となりました。

当院の杉野病院長の開会の挨拶に始まり、2 日間の研修では講義だけでなく、グループ演習、ロールプレイ演習も行われました。研修内容は、「緩和ケア概論」、「つらさの包括的評価と症状緩和」、「がん疼痛の評価と治療」、「呼吸困難」、「消化器症状」、「気持ちのつらさ・せん妄」についての講義、「疼痛事例検討」、「オピオイドを開始するとき」、「コミュニケーション」、「療養場所の選択及び地域連携・在宅緩和ケア」のグループ演習や、ロールプレイ演習を行いました。グループ演習では、各グループに多職種参加者が加わり、様々な視点から問題点や解決策がだされました。

講義、グループワーク、ロールプレイ、どの形式においても様々な意見や質問が活発に出され、参加者の真剣さや意欲の高さを感じることができました。

参加者からは、「具体的な処方の仕方なども勉強できて良かった。ロールプレイを通して日頃の自分の診療を見通すことができている経験になった。学んだことを明日からの診療に生かしていきたい」、「疼痛、呼吸困難、せん妄などがん患者さんに起こり得る事象に対応すべき基本的知識を改めて教えていただきました。また、6 人いれば 6 つの知恵があり、改めてチーム医療の重要性を感じました」、「明日からの診療に役立つとても有益な情報ばかりでした。医療支援にどのようなものがあるのか主治医が理解していると、在宅医療・介護への移行もスムーズになるなど思い、これから役立てていきたい」など多くの意見が寄せられ、有意義な研修会となり無事終了することが出来ました。

当研修会は、定期的で開催しており、次回開催は、平成 29 年 11 月 11 日（土）～12 日（日）を予定しております。より多くの先生のご参加をお待ちしております。

《研修会風景》

開会挨拶



講義



ロールプレイ演習



グループワーク演習

